

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【公開番号】特開2008-219852(P2008-219852A)

【公開日】平成20年9月18日 (2008.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-037

【出願番号】特願2007-167008(P2007-167008)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/02 (2009.01)

H 0 4 W 28/00 (2009.01)

H 0 4 J 3/16 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 5 D

H 0 4 B 7/26 1 0 9 M

H 0 4 J 3/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月29日 (2010.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移動局との間で、上り占有チャネル、下り共有データチャネル及び下りシグナリング制御チャネルを使用して通信を行う無線アクセスネットワーク装置であって、

通信を開始、或いは再開する移動局に対して、当該移動局が使用すべき上り占有チャネルをハンドオーバーコマンドにて割り当てる上り占有チャネル割当手段と、

前記の割り当てた上り占有チャネル上で、当該移動局からの上り送信の受信を検出する占有チャネル受信検出手段と、

当該移動局の占有チャネル受信が検出された場合、当該移動局に対して、下り共有データチャネル及び下りシグナリング制御チャネルを使用して応答を送信する下り送信手段とを備えることを特徴とする無線アクセスネットワーク装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の無線アクセスネットワーク装置において、

前記上り占有チャネル割当手段が、当該移動局が使用すべき識別子を割り当てることを特徴とする無線アクセスネットワーク装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の無線アクセスネットワーク装置において、

前記上り占有チャネル割当手段が、当該移動局が Access preamble 送信に使用すべき Signature を割り当てることを特徴とする無線アクセスネットワーク装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の無線アクセスネットワーク装置において、

予め用意された上り占有チャネルが利用可能でない場合、上りリンクでは競合チャネル信号を使用すべきことが前記移動局に通知される無線アクセスネットワーク装置。

【請求項 5】

無線アクセスネットワーク装置との間で、上り占有チャネル、下り共有データチャネル

及び下りシグナリング制御チャネルを使用して通信を行う移動局であって、
無線アクセスネットワーク装置からのハンドオーバーコマンドで、使用すべき上り占有チャネルの割当情報を受信する上り占有チャネル割当情報受信手段と、
前記の割り当てられた上り占有チャネルを設定する上り占有チャネル設定手段と、
前記の設定した上り占有チャネル上で上り送信を行う上り送信手段と、
前記上り送信終了後、ユーザ個別識別子で下り受信を行うデータ受信手段と
を備えることを特徴とする移動局。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の移動局において、
前記上り占有チャネル割当情報受信手段にて、自局が使用すべき識別子を受信することを特徴とする移動局。

【請求項 7】

請求項 5 又は 6 に記載の移動局において、
前記上り占有チャネル割当情報受信手段にて、自局が使用する Access preamble の Signature を受信することを特徴とする移動局。

【請求項 8】

請求項 5 乃至 7 何れか 1 項に記載の移動局において、
予め用意された上り占有チャネルが利用可能でない場合、上りリンクでは競合チャネル信号を使用すべきことが前記無線アクセスネットワーク装置から通知される移動局。

【請求項 9】

移動局と無線アクセスネットワーク装置との間で、上り占有チャネル、下り共有データチャネル及び下りシグナリング制御チャネルを使用して通信を行う移動通信システムであって、

前記無線アクセスネットワーク装置は、

通信を開始、或いは再開する移動局に対して、当該移動局が使用すべき上り占有チャネルをハンドオーバーコマンドにて割り当てる上り占有チャネル割当手段と、

前記の割り当てた上り占有チャネル上で、当該移動局からの上り送信の受信を検出する占有チャネル受信検出手段と、

当該移動局の占有チャネル受信が検出された場合、当該移動局に対して、下り共有データチャネル及び下りシグナリング制御チャネルを使用して応答を送信する下り送信手段と
を備え、

前記移動局は、

下り共有データチャネル上で、使用すべき上り占有チャネルの割当情報を受信する上り占有チャネル割当情報受信手段と、

前記の割り当てられた上り占有チャネルを設定する上り占有チャネル設定手段と、

前記の設定した上り占有チャネル上で上り送信を行う上り送信手段と、

前記上り送信終了後、ユーザ個別識別子で下り受信を行うデータ受信手段と

を備えることを特徴とする移動通信システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するため、本発明による無線アクセスネットワーク装置は、

移動局との間で、上り占有チャネル、下り共有データチャネル及び下りシグナリング制御チャネルを使用して通信を行う無線アクセスネットワーク装置であって、

通信を開始、或いは再開する移動局に対して、当該移動局が使用すべき上り占有チャネルをハンドオーバーコマンドにて割り当てる上り占有チャネル割当手段と、

前記の割り当てた上り占有チャネル上で、当該移動局からの上り送信の受信を検出する

占有チャネル受信検出手段と、

当該移動局の占有チャネル受信が検出された場合、当該移動局に対して、下り共有データチャネル及び下りシグナリング制御チャネルを使用して応答を送信する下り送信手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明による移動局は、

無線アクセスネットワーク装置との間で、上り占有チャネル、下り共有データチャネル及び下りシグナリング制御チャネルを使用して通信を行う移動局であって、

無線アクセスネットワーク装置からのハンドオーバーコマンドで、使用すべき上り占有チャネルの割当情報を受信する上り占有チャネル割当情報受信手段と、

前記の割り当てられた上り占有チャネルを設定する上り占有チャネル設定手段と、

前記の設定した上り占有チャネル上で上り送信を行う上り送信手段と、

前記上り送信終了後、ユーザ個別識別子で下り受信を行うデータ受信手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、本発明による移動通信システムは、

移動局と無線アクセスネットワーク装置との間で、上り占有チャネル、下り共有データチャネル及び下りシグナリング制御チャネルを使用して通信を行う移動通信システムであって、

前記無線アクセスネットワーク装置は、

通信を開始、或いは再開する移動局に対して、当該移動局が使用すべき上り占有チャネルをハンドオーバーコマンドにて割り当てる上り占有チャネル割当手段と、

前記の割り当てた上り占有チャネル上で、当該移動局からの上り送信の受信を検出する占有チャネル受信検出手段と、

当該移動局の占有チャネル受信が検出された場合、当該移動局に対して、下り共有データチャネル及び下りシグナリング制御チャネルを使用して応答を送信する下り送信手段とを備え、

前記移動局は、

下り共有データチャネル上で、使用すべき上り占有チャネルの割当情報を受信する上り占有チャネル割当情報受信手段と、

前記の割り当てられた上り占有チャネルを設定する上り占有チャネル設定手段と、

前記の設定した上り占有チャネル上で上り送信を行う上り送信手段と、

前記上り送信終了後、ユーザ個別識別子で下り受信を行うデータ受信手段とを備えることを特徴とする。